



きたなかぐすくぞん
**北中城村
議会だより**

News from
Kitanakagusuku
village council

令和6年12月定例議会

112号
2025年2月発行

こぼれさ
ハワイの語

カ
ラ
イ
カ
マ
ウ
リ
オ
ラ
Ka la i ka maui ola

全ての命は、ラー[太陽]に生かされている



議会HPは
こちらから
Check!

撮影場所：北中城村渡口から望む日の出

■目次

- 特集：今のなぜを考える！…… 2P
- 令和6年度補正予算…… 4P
- 5名の視点で問う！一般質問…… 5P
- 政務活動報告…… 11P
- 新議長の挨拶…… 12P
- 頑張る島んちゅ！
編集後記

村政を問う!

インターネットLIVE中継や録画も配信中!
議会議場でも傍聴できます!

一般質問者
13名中、5名が登壇しました



- 村の様々な取組や課題等について、議員が提案も含めて、村に考えを聞くのが「一般質問」
- 一般質問の議会要約文は本人執筆、議会広報委員会でチェックして掲載
- 各議員氏名上のQRコードから動画がご覧いただけます



聞いてみよう
議員の意見

比嘉 悟 議員

① 北中城まつり・青年エイサーまつり
② 平和行政
③ ごみの出し方

→ 6P

大城 律也 議員

① 中城村・北中城村共同のまちづくり

→ 7P

比嘉 正志 議員

① 学校教員の現状
② コミュニティバスの利用状況

→ 8P

平安山 和美 議員

① 子どもの権利
② 防災・減災

→ 9P

比嘉 義弘 議員

① 道路の壁の落書き
② 村民体育館の件
③ シルバー人材センター

→ 10P



見てみよう
議会の視点



令和7年3月定例議会に傍聴に行こう!

3月7日(金)開会～27日(木)閉会(予定)

令和6年度 一般会計補正予算

令和6年第11回北中城村議会定例会は、12月6日～11日までの6日間の会期で開かれました。村提出議案は、条例の改正、補正予算など議案13件、審議の結果、賛成多数で可決しました。尚、一般質問は5名の議員が登壇し行政を質しました。

令和6年度一般会計補正予算(第5号)

- 補正額2億1,206万円
- 歳入歳出予算総額97億1,431万円



令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

- 補正額204万円
- 歳入歳出予算総額22億4,768万円



主な事業

- 法改正による児童手当拡充分の児童措置費の増額 6,538万円
- 報酬改定による障害福祉サービス費の増額 4,624万円
- 北中城小学校地区交通安全対策工事 400万円

令和6年北中城村議会議案に対する各議員賛否一覧

令和4年6月に制定された、北中城村議会基本条例第4条第5項に、議会は議案に対する各議員の賛否等を議会広報で公表する等、情報の提供に努めるものとする。という条文のもと令和6年1月の第1回臨時会から12月に行われた第11回定例会まで、72件の議案、5件の認定案、3件の諮問、2件の承認、2件の同意、4件の陳情、4件の意見書、4件の決議を審議してきました。賛否が分かれた案件のみ公表いたします。

議員名	川上 龍太	屋良 朝春	比嘉 悟	比嘉 正志	平安山 和美	喜屋 武功	伊集 守吉	大城 律也	上間 堅治	喜屋 武すま子	比嘉 義弘	名幸 利積	山田 晴憲	比嘉 義彦
①	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
②	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議
③	○	×	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	議	○	一

- ①認定第1号 令和5年度北中城村一般会計歳入歳出決算の認定について
- ②議案第60号 北中城村教育委員会スクールバス物件供給契約について
- ③議案第63号 北中城村地域福祉基金条例の一部を改正する条例について

※○は議案に賛成、×は議案に反対、欠は欠席、一は議員失職
※議は議長で議案の賛否に加わらない(可否同数の場合には議長の決するところによる)





土地利用の見直しが急務だ

■ 村長 今年度中に取りまとめる予定



おおしろ りつや
大城 律也 議員

・おにぎりの具で好きな物
梅、ツナマヨ、みそ

・パートナーにしたい動物
犬

・北中城村の良いところ
自慢できるところ
ふるさとへの愛着心
緑豊かな森



用語説明
※中部広域都市計画区域とは、現在、北中城村は那覇広域都市計画区域に指定され、土地利用に制限がある。中部広域都市計画区域は、土地利用(用途地域外・農振農用地外)にあり制限がない。

問 那覇広域都市計画区域は昭和49年に決定された。この制度から50年が経過している。当時と時代背景が変わっている。土地利用の見直しが急務である。両村において、住環境を整備することで、地域的人口減少に歯止めをかける必要がある。

答 現行の那覇広域都市計画区域に比べ、土地活用自由度が高い。中部広域都市計画区域への移行を意図して、後継者の定住化及び地域コミュニティの存続、各種産業の発展に繋げていきたいと考えている。自然環境や風致景観の保全を図りつつ地域の特色に応じた土地利用が特定用途制限等に適切なコント

問 両村の観光は、中城城跡の入込客数が増加しても地域経済が

答 両村の観光は、中城城跡の入込客数が増加しても地域経済が



観光資源は有効活用して保全する時代

ローカルが重要な課題である。現在立地適正化計画において検討している。今年度中に取りまとめる予定である。

問 中城城跡の観光資源有効活用で、「ロープウェイ」一人乗りリフト「国道329号駅から山頂駅建設で津堅島、久高島、日の出等を眺めながら絶景広がる空中散歩

答 現有資産の活用と新たな観光資源の開発による観光滞在時間の延長、特産品の開発推進など、村民所得及び税金の増加に向けた取り組みは重要な課題であると認識している。

答 世界遺産である中城城跡周辺における景観との調和、観光施設として有用性及び採算性など多くの検討課題がある。



村を一つにギネスに挑戦を

■ 村長 良い提案、前向きに検討したい



ひが さとむ
比嘉 悟 議員

・おにぎりの具で好きな物
鮭

・パートナーにしたい動物
馬

・北中城村の良いところ
自慢できるところ
緑豊かで人があたたかい



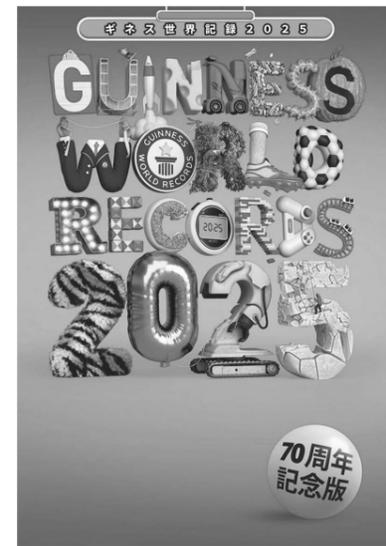
用語説明
※ふれあいクリーンアップ大作戦とは、北中城村社会福祉協議会・北中城村青少年健全育成協議会主催で、毎年2月と6月の第2日曜日に開催されるしおさい公苑周辺や熱田漁港周辺の清掃活動。

問 北中城まつり。青年エイサーまつりの防災対策は。

答 災害時避難計画を作成し、避難路等の看板設置、司会より災害時対応アナウンスを実施。

問 両日の出演者等への災害時の対応周知は。

答 委託業者の方に。対応等含めお願いした。



ギネスに挑戦

問 避難場所になり得る北中城団地へ備蓄品の備えを。

答 避難場所になり得る北中城団地への備蓄品の備えを。

問 今後の課題に。

答 周知を徹底していきたい。

問 備蓄できるような部屋があり、そこを活用できるか考えたい。

答 備蓄できるような部屋があり、そこを活用できるか考えたい。

問 会場の課題が出た。キャンプ瑞慶覧内の陸上競技場での開催は。

答 会場の課題が出た。キャンプ瑞慶覧内の陸上競技場での開催は。

問 去る村長選挙で、北中城村が二分したかのように思う。村を一つにするためにも、多くの村民を集め北中城まつりでギネスに挑戦というのはいかがでしょうか。

答 毎年、司令官との面談がある。まつりについても打診したい。

問 毎年、長崎平和学習に北中城中学校の生徒が参加している。その子たちを巻き込みながら平和を守る北中城村民の会の運営や村

答 良い提案。実行委員会等で前向きに検討したい。

問 令和7年4月より、指定ごみ袋、粗大ごみ処理券料金及び自己搬入手数料改定が予定されている。村民への周知は。

答 村広報、ホームページ、公式LINEを使ってお知らせしたい。

問 村民にごみの排出量の抑制や減量化、

答 合理的であれば、その改正も必要あると思う。

問 平和行政に若い世代を

答 毎年、長崎平和学習に北中城中学校の生徒が参加している。その子たちを巻き込みながら平和を守る北中城村民の会の運営や村

問 令和7年4月より、指定ごみ袋、粗大ごみ処理券料金及び自己搬入手数料改定が予定されている。村民への周知は。

答 村広報、ホームページ、公式LINEを使ってお知らせしたい。

問 村民にごみの排出量の抑制や減量化、

答 合理的であれば、その改正も必要あると思う。

問 村社会福祉協議会主催の「ふれあいクリーンアップ大作戦」が毎年2月と6月にある。そこで周知しては。

答 そういう指摘はありがたい。実行していこうと思う。

問 沖縄市、北谷町、浦添市では、紙類・古紙類を縛るひもは紙ひもを使用してくださいとある。北中城村も紙ひもにしてはどうか。

答 合理的であれば、その改正も必要あると思う。



詳細は動画からチェック!

こども計画の進捗状況は

■ 村長 令和7年度中の策定を目指す



へんざん かずみ 平安山 和美 議員

- おにぎりの具で好きな物
油みそ
- パートナーにしたい動物
犬
- 北中城村の良いところ
自慢できるところ
穏やかな村民性



用語説明 ※こども基本法とは、日本国憲法および児童の権利に関する条約の精神にのっとり、全ての子どもが将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、子ども政策を総合的に推進することを目的としています。

問 小学校5年生、中学校2年生、北中城高校の全生徒に学校を通して依頼をしている。また、18歳から35歳までの方に関しては、抽出し郵送でアンケートを送って、オンラインでの回答。

答 小学校5年生、中学校2年生、北中城高校の全生徒に学校を通して依頼をして

問 アンケートの対象者は。

答 第3期村子ども・子育て計画と一体的な計画として「こども計画」を策定予定。子ども達へのアンケートを実施し、令和7年度中の策定を目指す。

問 こども基本法第10条「こども計画」の進捗状況は。

答 も・子育て計画と一体的な計画として「こども計画」を策定予定。

問 長い間、学校現場で子ども達の可能性を見つめてきた教育長に、※こども基本法について見解を伺う。

答 本間に素晴らしい法律ができたこと実感している。主人公は子ども達である。9年間の義務教育、教育委員

会としては幼稚園の2年も含めて11年間の園・学校の教育において、しっかりと子ども達に身につけさせたい。それから教育基本法には家庭の役割、地域の役割、学校の役割、全て網羅されている。三者が協力して子ども達一人一人を大事に育てていくことが

<p>1. 生きる権利</p> <ul style="list-style-type: none"> • 防げる病気などで命をうばわれないこと。 • 病気やけがをしたら治療を受けられることなど。 	<p>2. 育つ権利</p> <ul style="list-style-type: none"> • 教育を受け、休んだり遊んだりできること。考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができることなど。
<p>3. 守られる権利</p> <ul style="list-style-type: none"> • あらゆる種類の虐待や搾取などから守られること。 • 障害のある子どもや少数民族の子どもなどはとくに守られることなど。 	<p>4. 参加する権利</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自由に意見をあらわしたり、集まってグループをつつたり、自由な活動をおこなったりできることなど。

©公益財団法人 日本ユニセフ協会

児童の権利に関する条約の4つの柱

問 直接的に暴力を受けていなくても、DVを見聞きして育つ子どもは心身に傷を負い、成長後もフラッシュバックに苦しむなど、PTSDを

答 DVなど家族内暴力。児童の面前で起きている。心理的虐待9件、ネグレクト7件、身体的虐待6件。

問 本村における児童虐待の実態は。

謳われている。それを子どもの視点で捉えているのが、こども基本法の趣旨だと思う。子ども達一人一人の課題は、家庭環境や生育環境にもあることから、関係課とも連携をしながら進める。

答 管理職を中心に、担任の先生やカウンセラーの活用で、対象の子の心をケアしていく体制を整えている。

問 学校カウンセラーは、学校に常駐されているのか。

答 小学校には、子どもと親の相談員。中学校にはスクールカウンセラーと相談員が常駐している。常時子ども達の心のケアを図っている。

■その他に、防災・減災について質問をしました。



詳細は動画からチェック!

病気休暇等の代わりに先生への対応は

■ 教育長 県教育委員会と連携して対応する



ひが まさし 比嘉 正志 議員

- おにぎりの具で好きな物
昆布
- パートナーにしたい動物
鳩
- 北中城村の良いところ
自慢できるところ
役場職員



用語説明 ※デマンド型運行とは、予約する利用者に応じて運行する時刻や経路が変わる交通方式のことです。予約がある場合のみ運行される。縮小する公共交通機関の代替手段として全国各地で導入が進んでいる輸送サービス。

問 今年度から村内の小・中学校にスクールサポートスタッフが設置された。また年度途中から北中城小学校では、これまでは無かった通級指導教室を仮に運用開始したとの事。学校現場では教職員の負担軽減、児童生徒の声なき声への対応が進んでいるように思われるが、その他の改善点は。

答 学校管理規則の中で教職員の業務量の適切な管理等を定めたり、部活動指導員の配置、ICT支援員の業務委託、小学校に



教職員79名の有給休暇の取得率は35.8%

問 教職員の休暇の取得状況は。

答 教職員79名の有給休暇の取得率は35.8%となっており、その中で病気休暇の取得状況は11.4%となっ

問 病気休暇や産休・育休を取る先生が増えている。生方が代わりの先生が務めないとけない。代わりの先生も常にフル活動する。そういった疲弊する状況が教育現場では起こっている。今後、悪化するのには当然ながら見えている。それに対する対応は。

答 教育委員会としては引き続き県教育委員会と連携して、早期に臨任の教職員の配置が出来るよう、これから働きかけていく。

問 他市町村ではデマンド型運行を採用している。行きたいところに行きたい時間に行ける。本村の高齢者の方々が、どんな外出しやすくなる。これはフレイル予防対策にも繋がっていく。村民がより有効に行き来できる為にデマンド型運行が必要だと思ふ。検討は可能か。

答 コミュニティバスを運行している理由として交通空白地帯の解消、交通弱者等の為に行っている。村民にとって、どういうコミュニティバスが良

問 中城村の護佐丸バスでは50枚綴りのお得な回数券を販売している。本村のコミュニティバスでも取り入れられないか。

答 本格稼働の際には回数券やICカード等、利便性の高いものを検討する必要があるかと思ふ。



現場主義・活動する議会

研修・現場視察から見えるもの 政務活動報告

先進地事例から見える北中城村のポテンシャル！

- 〈調査日〉令和6年10月16日～18日 ■〈調査場所〉愛媛県松山市、大洲市
- 〈参加議員〉大城律也 議員、伊集守吉 議員、喜屋武功 議員、平安山和美 議員、比嘉悟 議員、川上龍太 議員
- 〈研修内容〉①松山城ロープウェイ事業
②大洲市町屋・古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくり

①松山城ロープウェイ・リフト 「県内随一の景勝地を活かせ！」

2023年の松山市全体の観光客数が555万人。その中でも四国一の観光地である松山城の観光客数は129万人。その人気度を高めているのはロープウェイ・リフトで、大人も子どもも楽しめる一つのアトラクションになっている。天守閣がある勝山(標高132m)の頂上からの景色は絶景で、それらを見たい高齢者の方やハンディキャップを持っている方々を運ぶ有効な移動手段にもなっている。



中城城跡も標高160mの丘陵地にあり、グスクからの眺望は風光明媚で東側に中城湾や太平洋、西側に東海岸、北側に勝連半島や北谷読谷方面、南側に与那原や知念半島を見渡すことが出来る県内随一の景勝地である

そのような中城城跡が持つ地理的優位性を活かす観光振興策としてロープウェイ・リフトは大きな起爆剤になり、今以上の観光訪問客を呼び込めると考える。松山城ロープウェイなどの取組みは大いに参考になった。

②大洲市観光まちづくりの取組み 「ビフォー・アフターではなく、ビフォー・ビフォーで再生」

大洲市のまちづくりの取組みは、国内外で評価され、2021年には「歴史的建造物を活用した観光まちづくり」でグッドデザイン賞受賞、2022年第14回観光長官賞。2023年国際機構グリーンDESTネーション「世界の持続可能な観光地2023年TOP100」に2年連続選定された。



何もしなければいずれ廃れて、古き良き思い出も消えてしまうという危機感から始まった大洲市の取組みであるが、地域資源に付加価値を付けて消費者へ発信し提供する。古い町屋・古民家という歴史的建造物をビフォー・アフター(リノベーション)ではなく、ビフォー・ビフォーで再生するという取組みが、このプロジェクトの魅力だ。



全国にある観光地は点と点を繋ぐ動線が主だが、大洲市は歴史的町並みの中に分散型のホテル(2023年8月現在:26棟31室)を中心にして、ショップやレストラン、観光案内所、道の駅、地ビール醸造所などを配置し、一カ所の観光地に入場料を払って楽しむようなものではなく、このエリアを周遊させ長時間滞在させることでお金を落としていくという仕組みに創り上げている。北中城村にとっても参考になることがたくさんあった。

大洲市は日本初の取組みとして1組1泊110万円以上の「城泊:大洲城キャッスル・ステイ」というコンテンツを開発し「観る文化財」「利用する文化財」を実現した。

大洲市を観光で盛り上げるという取組みは、地元で仕事を生み、地元の若い人達を定住化させるだけでなく「シビックプライド:地元地域に対する誇りと、自身が関わって地域を良くしたいという心」を醸成するのに繋がっている。そこが一番の地域振興だと感じた。

落書きへの対応は

■村長 子ども達に絵を描いてもらいたい対応

詳細は動画からチェック!



ひが よしひろ 比嘉 義弘 議員

- ・おにぎりの具で好きな物 シャケ
- ・パートナーにしたい動物 犬
- ・北中城村の良いところ 自慢できるところ 緑が多く田園文化



※子ども達に絵を描いてもらう取り組みとは、正式名称は「わが街アートプロジェクト」村内在住のアーティストや児童生徒及び父母らが、落書きの消去を行い、周辺環境と調和されたペインティングで書き添えることで公園の魅力や再発見でき、公園への愛着が深まる事を目的に活動している。

問 最近の道路の落書きは減るどころか余計に目立つようになっている。建物にも落書きが増えている。沖縄県も北中城村も観光を売り物にしているのに落書きが増える、その目的が難しくなるのではないかと懸念。担当の対応は。

答 今後の対応としては、2年程前に落書きが多く見られた渡口みどり公園のトイレにおいて職員によって絵を描いたところ、新たな落書きの抑止効果が出ており、現在、落書きが多い施設、渡



村内トンネルの落書き

問 この件については、飽きる程質問をしてきた。現在の財政

村民体育館の床は

答 9月議会一般質問で答えた通り、建設費6億2,121万1,000円で、土地代は土地開発公社より約5億円。

問 体育館の床に問題があることを以前にも指摘した。床を直す必要があるのではないか。

答 体育館を建てる際に色々検討された上で現在の形になっているので問題があるという認識は無い。ただし、議員の言う通

リ、そういう意見があるという事を認識したいと考えている。

シルバー人材センターの拡充は

問 今回の村長選で両候補者がシルバー人材センターの拡充を奇しくも強調していたが、それを今でも公約として考えてよいか。

答 シルバー人材センターの拡充については公約に掲げたので現在もそのように考えている。

問 現在のシルバー人材センターの年間売り上げは幾らか。因みに中城村シルバー人材センターの売り上

答 令和5年度の決算における契約額は1,589万円となっており、村からの補助金は約1,000万円、うち130万円は県補助金を充当している。



就任挨拶 活発な議論で住民の負託に応える議会

私は、昨年の12月定例議会にて議長に就任を致しました。住民代表として選出された議員個々の個性を活かしつつ、二元代表制の下、議会としての役割を議員一丸となって取組んで参ります。さて、昨年は様々な選挙がありましたが、いずれの選挙も投票率が低く、従来からの政治、選挙離れを深刻に受け止めており、議会報告会や議会だより等の充実を図り、投票率向上を目指したいです。村政では清掃行政や火葬場建設へ今後多額の支出が予測されています。限られた財源の中でどう住民生活を向上させていくのか、議会での活発な議論を通して村民の負託に応えて参りたいです。結びに令和7年が皆様にとって希望に満ちた年であります様にご祈念申し上げて挨拶と致します。



議長 名幸利積

頑張る 島んちゅ! シリーズ No.3

アロハイサイ!で 北中城村とハワイの架け橋に!

カイルア フラ スタジオ 代表 仲本 大樹さん

久保田出身 島袋在住

仲本さんは、13年前に立ち上げたフラダンス教室「カイルア・フラスタジオ」を拠点に村内外で活動している。久米島、宮古島、与論島でフラダンスによる健康対策事業や北中城高校で週1回、本人を含めたカイルア・フラスタジオメンバーでフラダンスの指導、村内ではライカム地区の方々と連携し子どもエイサーの立ち上げなど、新しい地域の中でまちづくりにも大きく貢献している。

仲本さんは「ライカム地区の子ども達との取り組みを通して、自治会の必要性や自治会発足へのエネルギーとなってくれば嬉しい」と語る。

2025年の抱負については「ハワイと北中城村との繋がりを大事にして昇華させていきたい。今年は沖縄とハワイ移民125周年の年、比嘉トーマス太郎さんを移民に出している本村との繋がりを多くの村民に知ってもらうために村民劇を進めたい。また、北中城村とハワイの子ども達の文化交流や短期留学も展開していきたい。」

「北中城村にはハワイとのルーツを持つ方もたくさんいる。ハワイに北中城村人会有るか調査した所、ゆかりのある方々が50世帯あった。いずれは北中城村とハワイとでお互い行き来できる友好関係を目指し、北中城村をハワイのメッカにしてインバウンドの受け皿として健康になりながらアジアフラダンスフェスティバルを年1回程度開催したい」など、目を輝かせながらたくさんの夢と目標を語っていただきました。

見出しにもあるアロハイサイだが、アロハとハイサイを結び付けた仲本さんオリジナルの造語だが、その造語のようにフラダンスと三線、ハワイと沖縄の文化を合わせ持って活動・交流・事業を展開する仲本大樹さん。今年も大きな夢を持ってひた走る仲本さんの活動に期待が高まります。



発行責任 北中城村議会議長
編集 議会広報調査特別委員会

2025年2月25日発行 TEL 098-2392 沖縄県中頭郡北中城村喜舎場426-2 (TEL・FAX) 098-935-4848 (印刷) 株式会社琉球若草

編集委員 (委員長) 喜屋武功 (副委員長) 比嘉悟 (委員) 平安山和美・比嘉正志・川上龍太

議会広報調査特別委員会 委員 川上 龍太

変化と柔軟の年 編集後記

謹んで新春のご祝辞を申し上げます。2025年の干支は巳年。巳年は「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年」とも言われており、私たち議会広報調査特別委員会は粘り強く着実に発展していく姿勢で取り組んで参ります。また、議会だよりを通して議会での議論された内容をできるだけ分かりやすくお伝えしていきます。

「村民の皆様が親しむを持って読んでもらえる議会だより」をモットーに創意工夫をしながら変化に富んだ誌面づくりに励んでいきますので、ぜひとも引き続きご愛読の程宜しくお願い致します。